



duomo…イタリア語で町一番の教会という意味です。弊社がお客様や地域の人たちから親しまれ必要とされ町一番の会社になれるようにとの願いを込めてこの名前に決めました。

今が一年で最も寒い時期と言われています。確かに今日は雪花が散って寒かったです。昨日、徳島市で、車のオートエアコンを24℃に設定して、運転していたら、午後1時くらいには、知らぬ間に、冷房になっていました。それはともかく、今年の冬はインフルエンザが猛威を振るっております。ここしばらくは、なるべく人混みを避け栄養を取って、温かくして、ゆっくりと、お過ごしくださいませ。と、それができれば苦勞はしませんが。(^^)

下足守の家 上棟しました。

防蟻剤入り断熱材(パフォームガード)を使った基礎断熱の家



1月20日に棟上げを致しました。

朝は、少し小雨がパラついたもののお昼前には、雨もやみ、雲間から青空も見えるようになって、無事上棟できました。

今月の「私の住まい考」のコラムでもご紹介しているように、快適な住環境をつくるためには、暖房器具の能力を高める事だけでは、不可能で、床壁天井ともしっかりと断熱工事をするしかありません。

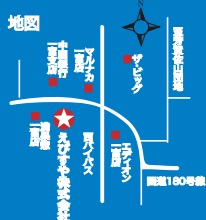
室内で体に感じる温度(以降:体感温度)は、室温と床壁天井の室内側表面温度を足して2で割った温度と言われています。

暖房器具で室内をいくら温めても、床壁天井の表面温度が低ければ、体感温度は下がり、加えて室温との温度差による不快感が増し、ちっとも快適とはなりません。

こちらのお家では、基礎下と基礎の立上部分を、パフォームガード(注1)という厚さ50mmの断熱材で隙間なく覆い、さらにそれら同士の隙間と基礎コンクリートとの隙間を、防蟻剤入りのコーキング材で塞ぎます。これからの工事になりますが、壁の中に充填断熱として、吹付ウレタンを約80mm、屋根の内側に200mm吹付、壁の外側に50mmのEPS断熱材を貼りつけます。こうすることで、室温と室内側床壁天井の表面温度の差を少なくし、省エネで快適な室内環境をつくることができます。

※(注1)防蟻EPS断熱材:パフォームガード(左写真参照)

断熱材の材質や形状の特性により、人畜無害のシロアリ防除をした断熱材は、EPS(発泡ポリスチレン)しか技術的に製造できません。その技術開発に成功したのが世界で唯一、米国AFM社であり、その特許製品が、AFM社のパフォームガードなのです。パフォームガードは極寒の南極基地で40年以上前から使用されている、優れた断熱性能を持つビーズ法ポリスチレンフォーム(EPS)に人体や動物に無害な無機質(ホウ酸系化合物)の物質を、ビーズ一粒ずつ均等に含有させる技術を用いて作られており、シロアリが断熱材へ侵入するのを妨げる機能を持っています。成分の自然分解がないため防蟻効果は持続します



ご連絡先 ☎ 086-284-6170

えびすや建築工房

TEL. 086-284-6170 E-mail. info@ebisuya-net.co.jp
FAX. 086-284-6175

えびすや 株式会社 〒701-1211 岡山市北区一言113-1

こちらから無断でお伺いすることはございません。